

2024年度 一般選抜 学力検査

## 世界史 B

解答番号  ~

FW3

世

【1】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

人間とはどんな存在なのだろうか。少なくとも、生物の長い進化のなかで生まれた存在の一つであると考えるのが自然だが、ただ、こうした認識は 19 世紀までは必ずしも自明のことではなかった。しかし、19 世紀に入ると進化論的な思考が広がり、1859 年の<sup>(a)</sup>『種の起源』の出版以降、単に生物全般についてだけでなく、人間の進化についても探究が進んだ。ただ、同時代、<sup>(b)</sup>社会に関しても進化論的思考が適用されるようになったことは忘れてはならないことである。

人類を、とりあえず、直立二足歩行を特徴とする存在とするならば、その出現は 700 万年前頃、アフリカにおいてであると考えられている。その後、人類は現生人類（ホモ=サピエンス）まで、枝分かれの形で様々なタイプの人類を生み出しながら進化してきた。たとえば、<sup>(c)</sup>ホモ=エレクトゥスがいる。さらに、19 世紀半ばにドイツで発見された **A** のような旧人もいる。だが、ホモ=エレクトゥスも **A** も滅びたと考えられている。

少なくとも 20 万年ほど前頃からアフリカに<sup>(d)</sup>新人が現れた。これが現在の現生人類（ホモ=サピエンス）に直接繋がっていると考えられている。新人はアフリカを出て世界各地に拡散したが、それにもなって言語も分化していった。現在では、共通の特徴を有している言語グループを<sup>(e)</sup>語族と呼んでいる。

約 1 万年前に氷期が終わり、地球は温暖化した。約 9000 年前頃には、人類は農耕・牧畜を始めたと考えられている。それまでの狩猟・採集の獲得経済から農耕・牧畜の生産経済への移行が始まったのである。<sup>(f)</sup>オリエントと呼ばれる地域では穀物栽培だけでなく、果樹栽培も行われ、多様な農産物・畜産物が生み出されるようになった。とくに灌漑農業により生産力が向上した地域では、大規模な定住がすすみ、文明が発達することになった。南メソポタミアで数多くの都市国家を作り上げた **B** は<sup>(g)</sup>楔形文字を用いるようになったことでも知られている。金属器も普及するようになったが、当初は素材としては銅・青銅が中心で、<sup>(h)</sup>鉄器が普及するのは少し後の時代になる。

中国北部でも黄河流域で農耕が始まり、前 5000 年頃から黄河中流域に<sup>(i)</sup>仰韶文化が現れた。 **C** 遺跡がその代表的な遺跡である。他方、南部の長江下流域では前 5000 年頃以降、稲作を中心とする農耕文化が始まった。稲作農耕はやがて周辺



問4 **A**に当てはまる、寒冷地で生き抜くための毛皮をまとい、用途に応じた様々な石器をつくり、埋葬の習慣も有していたとされる、旧人の呼称はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**4**。

- ① クロマニヨン人      ② 周口店上洞人      ③ グリマルディ人  
④ ネアンデルタール人      ⑤ ジャワ原人

問5 下線部(d)について、新人はすぐれた洞穴絵画を残している。スペイン北部にも、新人の残した洞穴絵画と考えられるものがある遺跡がある。その地はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**5**。

- ① ラスコー      ② イェリコ      ③ ジャルモ  
④ アルタミラ

問6 下線部(e)について、ヨーロッパでは、インド=ヨーロッパ語族の言語が多いが、中にはそれに属さない言語もある。非インド=ヨーロッパ語族の言語はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**6**。

- ① ドイツ語      ② ハンガリー語      ③ イタリア語  
④ オランダ語      ⑤ ロシア語

問7 下線部(f)について、オリエントで栽培されていなかった作物はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**7**。

- ① トウモロコシ      ② 大麦      ③ 小麦  
④ オリーブ      ⑤ ナツメヤシ

問8 **B**に当てはまる、ウル、ウルクなどの都市国家を作り、『ギルガメシュ叙事詩』を残した民族はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**8**。

- ① アッカド人      ② アムル人      ③ シュメール人  
④ アイオリス人      ⑤ ヘブライ人

問9 下線部(g)について、楔形文字の解読に成功したイギリス人は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**9**。

- ① エヴァンズ      ② ヴェントリス      ③ シュリーマン  
④ シャンポリオン      ⑤ ローリンソン

問10 下線部(h)について、鉄製の武器を早くから用い、シリアをめぐるエジプトと対立し、記録で確認できる最古の講和条約をエジプト王ラメス2世と結んだ民族はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**10**。

- ① ヒッタイト人                      ② カッシート人                      ③ フルリ人  
④ アラム人                              ⑤ カナーン人

問11 下線部(i)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**11**。

- ① 漆器、高床式住居跡などが遺跡から発見されている。  
② 青銅製の独特な「縦目仮面」で知られている。  
③ 明るい彩色文様の土器（彩陶）を特色とする文化である。  
④ 城壁を持った都市が出現していた。  
⑤ 養蚕業が始まっていた。

問12 **C** に当てはまる語はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**12**。

- ① 三星堆                                  ② 半坡                                  ③ 城子崖  
④ 河姆渡

問13 下線部(j)について、マウリヤ朝を建国した王は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**13**。

- ① カニシカ王                              ② ハルシャ王                              ③ クフ王  
④ アショーカ王                              ⑤ チャンドラグプタ王

【2】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

14 世紀の東アジアは動乱の時代だった。(a) 日本では 1333 年に鎌倉幕府が滅び、その後南北朝の争乱が長く続いた。中国では、(b) 紅巾の乱で頭角を現した朱元璋が 1368 年皇帝位 (洪武帝) に就き明を建国した。元は北方へと退かざるを得なくなった。北元である。朝鮮半島でも中国での明の成立後、高麗の武将 [A] が、権力を握り、1392 年には自ら即位し (c) 朝鮮王朝を開いた。

明の洪武帝は、(d) 内政面で様々な施策を実施した。対外交関に関しては、海禁策と朝貢貿易を組み合わせる方策を採った。しかし、洪武帝の死後、[B] に勝利し即位した永楽帝は積極的な対外政策に出た。自ら 5 度にわたってモンゴル遠征を行い、さらに (e) ベトナムにも出兵したが、ベトナム側の抵抗は激しく、撤退せざるを得なかった。また、鄭和に命じて大艦隊による (f) 南海諸国遠征を行わせた。この南海遠征も相まって、15 世紀には、明への朝貢貿易を中心として、東アジアからインド洋にわたる範囲での海洋交易システムによる、第 2 次大交易時代ともいうべきものが始まった。

15 世紀半ば、東シナ海で中継貿易の中心地の一つとなっていたのは、中山王が統一した琉球であった。一方、東南アジアの海域では 14 世紀末に成立した [C] が鄭和艦隊の根拠地になることで台頭し、東シナ海・南シナ海とインド洋を結ぶ要衝として、交易上大きな役割を果たした。16 世紀に入ると、(g) インド航路を開拓したポルトガルがこの交易海域に現れた。ポルトガルは香辛料貿易の独占を狙い、1511 年には [C] を、さらに西方ではペルシア湾岸の (h) ホルムズ島を 1515 年に占領し、交易海路を確保しようとした。ポルトガル人はさらに中国・日本方面にも進出した。明との貿易の拠点となったのがマカオで、ポルトガル人は、1557 年に明から正式にそこでの居住権を得た。他方、日本に関しては、1543 年にポルトガル人が種子島に漂着し鉄砲を伝えたとされる。さらに、1550 年にはポルトガル人は [D] に来航した。以後 [D] にはスペイン、オランダ、イギリスの船も来航し、いわゆる南蛮貿易の拠点となっていく。ただ、種子島に漂着したポルトガル人が乗っていたのは、(i) 倭寇の中国人の頭目が所有していた船であるとされていることには注目する必要がある。海上交易が必ずしも国家の事業として行われていただけでなく、一攫千金を狙う様々な出自の人々が混在・競合する形で行われていたことをよ

く示す例だからである。江戸時代初期に<sup>(j)</sup>タイのアユタヤを始め、東南アジア各地で日本人町が形成されていたことをみても、16世紀末から17世紀初頭までの時代、日本人の東南アジア海域での活動の活発さがうかがわれる。

問1 下線部(a)について、1274年と1281年の二度にわたるモンゴル軍の日本遠征が、鎌倉幕府滅亡の一因となった。この遠征を命じた大モンゴル国(モンゴル帝国)の第五代皇帝(大ハーン)は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**14**。

- ① オゴタイ                      ② モンケ                      ③ フラグ  
④ フビライ                      ⑤ ハイドゥ

問2 下線部(b)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**15**。

- ① 太平道の信徒らによる大農民反乱。  
② 五斗米道の信徒らによる大農民反乱。  
③ 義和団の信徒らによる大農民反乱。  
④ 白蓮教の信徒らによる大農民反乱。

問3 **A**に当てはまる人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**16**。

- ① 李成桂                      ② 李自成                      ③ 李世民  
④ 李元昊                      ⑤ 李舜臣



問8 下線部(f)について、鄭和の南海遠征は最終的には7回行われた。その分遣隊はアフリカ東海岸にまで及んだ。鄭和の艦隊の分遣隊が訪れ、また、後にヴァスコ＝ダ＝ガマが水先案内人をここで雇ったとされる、現ケニアの港市はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**21**。

- ① トンブクトゥ
- ② メロエ
- ③ マリンディ
- ④ キルワ

問9 **C** に当てはまる、マレー半島南西岸のイスラーム国家はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**22**。

- ① マジャパヒト王国
- ② シュリーヴィジャヤ王国
- ③ マラッカ王国
- ④ シンハラ王国
- ⑤ ヴィジャヤナガル王国

問10 下線部(g)について、ポルトガルがインドで根拠地としたインド西岸の港市はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**23**。

- ① ゴア
- ② ボンベイ
- ③ マドラス
- ④ ポンディシェリ
- ⑤ カルカッタ

問11 下線部(h)について、その後、1622年、ポルトガル人はこのホルムズ島から駆逐された。このことに関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**24**。

- ① ペルシャ湾岸にまで進出したオスマン帝国がポルトガル人をホルムズ島から駆逐した。
- ② 香辛料の交易路を押さえようとしたオランダ海軍がポルトガル人をホルムズ島から駆逐した。
- ③ インド航路の支配権を握るため、イギリスがポルトガル人をホルムズ島から駆逐した。
- ④ イラン人の民族意識の高揚に努めていたサファヴィー朝がポルトガル人をホルムズ島から駆逐した。



【3】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

宗教改革の展開は三つの段階に区分することができる。第一期は、<sup>(a)</sup>1517年のマルティン＝ルターによる「九十五カ条の論題」の発表を起点、1560年前後を終点とみなしうる。この時期には **A** というプロテスタント独自の思想的基盤が示された。また、この時期には<sup>(b)</sup>三十年戦争勃発以前の宗教改革をとりまく国際関係の基本が形作られた。一方、宗教改革がどのような結末を迎えるのか、その見通しはこの時期には明らかではなかった。各国の状況を見れば、イギリス（イングランド）では<sup>(c)</sup>ヘンリ 8 世が国教会を設立し、エドワード 6 世が教義面での改革を進めたが、メアリ 1 世はカトリックに復帰した。フランスでは、ユグノーと呼ばれる<sup>(d)</sup>カルヴァン派のプロテスタントが登場した。ただ、ユグノーとカトリックとの間に激しい闘争が始まるのは、もう少し後のことである。そしてドイツでは、**B** の和議によりルター派が公認されたことで、カトリックとプロテスタントの一応の和解が得られたが、この和解は神聖ローマ皇帝と領邦君主の争いには決着をつけない暫定的なものだった。こうして、第一期はカトリック、プロテスタントのいずれも決定的な優位を確保できないまま終わった。

1560年頃に、宗教改革をとりまく状況を変化させる一連の出来事が起こった。まず、1559年にイタリア戦争が終わった。これに前後して、神聖ローマ帝国、イギリス（イングランド）、フランスで相次いで君主が交代した。これらの出来事が起こった1560年頃から1618年までを宗教改革の第二期とみなすことができる。この時期の特徴は、それぞれの国内でカトリックとプロテスタントの抗争が激しくなったことである。フランスでは、アンリ 2 世の死去をきっかけとして、カトリックとプロテスタントの間の公然たる内乱が勃発した。**C** などの事件をはさんで、1598年アンリ 4 世が発布した<sup>(e)</sup>ナントの王令（勅令）で和解が達成されるまで、ほぼ 40 年にわたって断続的に内乱が続いたのである。いわゆるユグノー戦争である。イギリス（イングランド）ではエリザベス 1 世がプロテスタントに復帰し、多数のカトリック聖職者や信者を処刑した。ここでのプロテスタントとカトリックの争いは外国勢力の介入をも招いた。ネーデルラントの独立運動を支持するイギリス（イングランド）と対立関係にたったスペインは、<sup>(f)</sup>1588年に無敵艦隊（アルマダ）を派遣して、イギリス（イングランド）の占領と再カトリック化を図ったのである。

ここに見られるように、カトリックとプロテスタントの対立には諸国家間の勢力争いがつきまとった。そして国家間の勢力争いがさらに表面化し爆発したのが第三期である。1618年に **D** で起きたプロテスタントの反乱は、<sup>(g)</sup>三十年戦争につながった。そしてこの戦争の時期が宗教改革の第三期、すなわちその最終局面をなすものであった。

問1 下線部(a)について、「九十五カ条の論題」およびマルティン＝ルターに関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**28**。

- ① 「九十五カ条の論題」は、時の教皇インノケンティウス3世による贖宥状（免罪符）の販売を批判した。
- ② 「九十五カ条の論題」は、カトリックの総本山、ローマのサンタ＝マリア大聖堂の新築のために贖宥状（免罪符）の販売することを批判した。
- ③ 「九十五カ条の論題」を発表したのち、マルティン＝ルターはザクセン選帝侯のもとで『新約聖書』のドイツ語訳を完成させた。
- ④ 「九十五カ条の論題」に感銘を受けたミュンツァーは、ドイツ農民戦争を指導し、マルティン＝ルターもこれを支持し続けた。

問2 **A** に当てはまる語句はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**29**。

- ① 「自分を愛するようにすべての人を愛しなさい」
- ② 「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」
- ③ 「人は信仰によってのみ義とされる」
- ④ 「教皇は太陽であり、皇帝は月である」

問3 下線部(b)について、16世紀中葉までの国際関係に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**30**。

- ① 神聖ローマ皇帝カール5世は、イタリア戦争でブルボン家のフランスと戦った。
- ② 神聖ローマ皇帝カール5世は、メフメト2世率いるオスマン帝国からの侵攻と対峙した。
- ③ プロテスタントの諸侯と帝国都市は、カルマル同盟を結んで神聖ローマ皇帝カール5世のプロテスタント弾圧に対抗した。
- ④ フランスのフランソワ1世は、ハプスブルク家の神聖ローマ皇帝カール5世に対抗するため、オスマン帝国と軍事同盟を結んだ。

問4 下線部(c)に関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**31**。

- ① ヘンリ8世は統一法を制定し、カトリックからの決別を告げた。
- ② ヘンリ8世は国教会の拠点としての修道院を積極的に保護した。
- ③ エドワード6世は国王至上法（首長法）を制定し、改革の徹底を図った。
- ④ エドワード6世は一般祈禱書を制定し、国教会の教義・制度をととのえた。

問5 下線部(d)について、[1]カルヴァンの主著はどれか。[2]カルヴァンとカルヴァン派に関する記述として正しいものはどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**32**・**33**。

- [1] ① 『神の国』                      ② 『キリスト教綱要』              ③ 『愚神礼賛』  
④ 『告白録』                      ⑤ 『キリスト者の自由』

**32**

- [2] ① カルヴァン派はドイツではゴイセンと呼ばれた。  
② カルヴァンは予定説の教説を唱えた。  
③ カルヴァン派はイングランドではプレスビテリアンと呼ばれた。  
④ カルヴァン派は教会制度としては司教（監督）制を採った。  
⑤ カルヴァンは拠点としたチューリヒで神権政治を行った。

**33**

問6 **B** に当てはまる地名はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**34**。

- ① アウクスブルク                      ② アミアン                      ③ アーヘン  
④ カンポ＝フォルミオ              ⑤ ヴォルムス

問7 **C** に当てはまる出来事はどれか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**35**。

- ① 血の週間                              ② カノッサの屈辱              ③ アナーニ事件  
④ ドレフュス事件                      ⑤ サンバルテルミの虐殺

問8 下線部(e)について、このナントの王令(勅令)を廃止したフランスの国王は誰か。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**36**。

- ① ルイ13世                              ② ルイ14世                      ③ ルイ15世  
④ ルイ16世

問9 下線部(f)について、結果的に無敵艦隊は惨敗するが、イギリスの私拿捕船(私掠船)の船長として世界周航を成し遂げ、この無敵艦隊との戦いで副提督として活躍した人物は誰か。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**37**。

- ① マゼラン                              ② バルボア                      ③ レガスピ  
④ カブラル                              ⑤ ドレーク

問10 **D** に当てはまる地名はどれか。次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**38**。

- ① シュレジエン                      ② ベーメン(ボヘミア)      ③ アルザス  
④ シュレスヴィヒ                      ⑤ 南チロル                      ⑥ ズデーテン

問11 下線部(g)について、[1]この戦争にはスウェーデンも参戦したが、参戦したときのスウェーデン国王は誰か。[2]この戦争の講和条約はどれか。[3]この戦争のもたらしたものに関する記述として誤っているものはどれか。それぞれ、①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**39**～**41**。

- [1] ① ヴァレンシュタイン ② グスタフ＝アドルフ ③ カール 12 世  
④ マルグレーテ ⑤ グスタフ 1 世 **39**

- [2] ① ティルジット条約 ② サン＝ステファノ条約  
③ ウェストファリア条約 ④ ユトレヒト条約  
⑤ カルロヴィッツ条約 **40**

- [3] ① ヨーロッパの主権国家体制が確立した。  
② 主戦場のドイツでは人口が激減した。  
③ 領邦がほぼ完全な主権を認められ、神聖ローマ帝国が有名無実化した。  
④ フランスは西ポンメルンを獲得した。  
⑤ スイスとオランダの独立が国際的に認められた。 **41**

【4】 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

(配点 25 点)

(a) 20世紀初頭のロシアの政局は混乱を極めた。 対外的には、英仏と三国協商を結び、ドイツと対峙した。そのような中、1914年、第一次世界大戦が勃発する。ロシアは、協商国（連合国）側につきドイツ、オーストリア、**A**と戦った。戦線が膠着し長期化したことにより、ロシア国内では国民の厭戦感が高まっていった。国民の不満が昂じた結果、1917年3月、(b) ロシア二月革命（西暦三月革命）が起こり、ロマノフ朝は崩壊し、臨時政府が成立したが、政治は安定せず、(c) ロシア十月革命（西暦十一月革命）でレーニンはソヴィエト政権を樹立させた。

しかし、ソヴィエト政権は当初から盤石な統治体制を敷いたわけではない。当初は、(d) ロシア各地で反ソヴィエト勢力が割拠しており、こうした勢力との凄惨な内戦を戦い、かつ外国からの干渉とも戦わねばならなかった。内戦が終結すると、ソヴィエト政権は、国内政治の安定、(e) 経済復興、対外関係の正常化、民族自治制度の整備という課題を同時進行でこなしてゆくことになる。1924年にレーニンが死ぬと、(f) スターリンが台頭し、やがて独裁的な権力を握るにいたった。そして(g) スターリンが推進したソ連型の開発モデルは、第二次世界大戦後の新興独立国や開発途上国に影響を及ぼすこともあった。

1939年8月23日、(h) ソ連はナチス・ドイツと不可侵条約を結んだ。その後、1941年6月、ナチス・ドイツが一方的に不可侵条約を破棄してソ連領に攻め入ると、当初、ソ連は防戦一方だったが、1942年から1943年にかけての**B**の戦いでの勝利を転機に攻勢に転じ、ついにはドイツの首都ベルリンを陥落させた。東では、1941年4月に日本と中立条約を結んでいたが、日本の無条件降伏の直前、(i) ソ連は条約を破棄して対日参戦をした。





問7 下線部(f)について、第二次世界大戦勃発以前のスターリンに関する記述として正しいものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**48**。

- ① スターリンは、世界革命論を唱えていたブハーリンを国外に追放した。
- ② スターリンは、5カ年計画でコルホーズ建設を中心とする農業集団化を推進した。
- ③ スターリンは、国際的な共産党の情報機関組織としてのコミンフォルムを創設した。
- ④ スターリンは、スペイン内戦においてフランコ將軍を支援した。

問8 下線部(g)について、第二次世界大戦後の冷戦下において、新興独立国や開発途上国では、アメリカとソ連のどちらの支援を受け、どちらの社会・経済開発モデルを採用するかが焦点となった。冷戦下での新興国・途上国へのソ連による影響に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**49**。

- ① コンゴでは、独立直後、首相のパトリス・ルムンバがソ連の支援を乞うたことで、今度はアメリカの介入も招き、大きな内戦に発展した。
- ② ニカラグアでは、サンディニスタ民族解放戦線による革命政権がソ連との提携を強めたのに対し、反革命派を支援するアメリカが軍事介入し、内戦に発展した。
- ③ チリでは、ソ連の支援を受けたピノチェトが主要産業の国有化を訴えて政権を握ったのに対し、アメリカが介入し、軍部による反ピノチェトクーデターが起こった。
- ④ キューバでは、カストロが独裁政権を打倒し政権を奪取するとソ連に接近し、大企業の国有化を始めとしてソ連型社会主義をモデルとする国づくりを行った。

問9 下線部(h)について、独ソ不可侵条約締結後の1939年9月から1941年の独ソ戦開始までの時期のソ連の行動に関する記述として誤っているものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**50**。

- ① ドイツ軍のポーランド侵攻に呼応して、ポーランド東部へ侵攻した。
- ② スウェーデンとの間に「冬戦争」と称される戦争を引き起こし、カレリア地方をスウェーデンに割譲させた。
- ③ エストニア・ラトヴィア・リトアニアのバルト3国と個別に相互援助条約を結び、その後3国を併合した。
- ④ ルーマニアが併合宣言していたベッサラビア地方を奪還し、ソ連領とした。

問10 **B** に当てはまる、いったんはドイツ軍が市の大半を占領しながら、最終的には包囲したソ連軍に9万人ものドイツ軍が降伏するという形でドイツ軍が敗北し、独ソ戦の行方を決めたとされる戦いが行われた都市はどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**51**。

- ① レニングラード                      ② キエフ                              ③ モスクワ
- ④ スターリングラード

問11 下線部(i)について、ソ連の対日参戦を取り決めたのはどの会談においてか。次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**52**。

- ① テヘラン会談                      ② カイロ会談                      ③ ポツダム会談
- ④ 大西洋上会談                      ⑤ ヤルタ会談